

Radio CD Bluetooth®





要約

使用時の注意.	J. 2
概要説明.	J. 4
コマンドの説明.	J. 6
作動.	J. 10
音声認識の使用.	J. 11
ラジオを聞く.	J. 12
CD/MP3プレーヤーを聴く.	J. 15
外部音源.	J. 17
電話のペアリング、ペアリング解除.	J. 20
電話の接続、取り外し.	J. 23
電話をかける/電話を受ける.	J. 26
システム設定.	J. 30
作動異常.	J. 35

フランス語からの翻訳。たとえ部分的であっても，自動車メーカーの許諾書なしに本書の複製または翻訳をすることは、固く禁じられています。

使用時の注意 (1/2)

安全を理由にまたは物的損害の恐れについてシステムを使用する場合には、必ず次の注意事項に従う必要があります。(1)
運転する国によって定められた法律を必ず遵守してください。



オーディオシステムの操作に関する注意事項

- 交通事情が許すときのみスイッチ（前面またはハンドルの）を操作して情報を参照してください。
- 周囲の音が聞こえるように、ボリュームを適度なレベルに調整して下さい。

装置に関する注意事項

- 物的リスク、やけどを避けるために、このシステムを分解したり改造することは絶対にお止め下さい。
- 誤作動のため、また解体する場合には、メーカーの担当者までお問い合わせ下さい。
- プレーヤーに異物や損傷したまたは汚れた CD/CD MP3 を挿入しないで下さい。
- 12 cm 径の円 CD/CD MP3 のみを使用します。
- ディスクを扱うときは、CD/CD MP3 の印刷されていない面に触らないように、内縁または外縁を掴みます。
- CD/CD MP3 に紙を貼り付けないでください。
- 長時間使用した後は CD/CD MP3 が高温になっている場合があるため、慎重に取り出します。
- CD/CD MP3 を熱や直射日光にさらさないでください。
- アルコールを含む製品やスプレーはこのエリアに使用しないでください。

電話に関する注意事項

- 一部の法律では、車の中での電話の使用を規制しています。あらゆる走行条件下でハンズフリー電話は使用できません。すべてのドライバーは、走行の制御に集中する必要があります。
- 運転中に電話をすることは、不注意や重大な危険の原因となります。これには使用のあらゆる段階（電話番号を押す、通話する、電話帳の連絡先を検索する等）が含まれます。

ダッシュボードのメンテナンス

- 柔らかい布を使用して、必要に応じて少量の液体洗剤を含ませます。柔らかい軽く湿らせた布で拭き取り、その後乾いた柔らかい布で拭きます。
- フロントパネルのディスプレイを押したり、アルコールを含む製品やスプレーをディスプレイに使用しないでください。

使用時の注意 (2/2)

この注意事項におけるさまざまなモデルの説明は、本書の構想の際に分かっていた特徴に基づいて作成されました。注意事項には、記載されたモデルに関する存在する機能一式がまとめられています。注意事項のあるなしは、装備のモデル、選択したオプション、製品化する国によって異なります。またモデルイヤーの途中から登場した機能についても本書で取り上げます。

電話のメーカーとモデルによっては、いくつかの機能が車両のマルチメディアシステムと部分的または完全に互換性がある場合があります。

すべての取扱説明書の中で、指定サービス工場という記載がある場合は自動車メーカーを示しています。

概要 (1/2)

はじめに

オーディオシステムには、以下の機能があります。

- Digital Radio (DR) ;
- RDS ラジオ、
- CD/CD MP3 プレーヤー、
- 補助オーディオソースの管理 ;
- Bluetooth^(R) ハンズフリー電話システム。

ラジオと CD/CD MP3 機能

ラジオでは、常にラジオ局を聴くことが可能で、CD を別のオーディオフォーマットで再生できます。

ラジオ局は周波数帯で分類されます：FM (周波数変調) と AM (振幅変調)。

DR システム (地上波デジタルラジオ) は高品位の再生音を備えており、ラジオに保存されているテキスト情報 (Intellitext) をスクロールしてを表示する機能があります。

- ニュースの更新
- スポーツの結果など

RDSシステムは、選局中のラジオ局名を表示し、FM ラジオ局が送信するメッセージを表示できます。

- 交通情報 (TA)
- 緊急メッセージ。

外部入力オーディオ機能

パーソナルステレオを車両のスピーカーから直接聴くことができます。お手持ちのデバイスのタイプにより、手持ちのポータブルオーディオプレーヤーの接続法が複数考えられます：

- USB ソケット。
- Jack ソケット。
- Bluetooth^(R)接続。

互換性のある機器のリストの詳細については、指定の代理店に問い合わせください。

概要 (2/2)

Bluetooth^(R) 機能

この機能により、オーディオシステムは、Bluetooth^(R)ペアリングを使用してポータブルオーディオプレーヤーまたは携帯電話を認識して操作することができます。

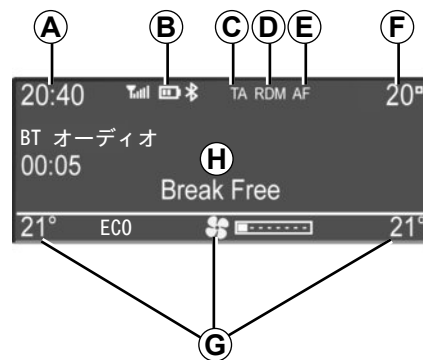
ハンズフリー電話機能

Bluetooth^(R)ハンズフリー電話システムは、電話機を操作しなくても以下の機能を使用できます。

- 5 台までの電話のペアリング
- 電話をかける / 受ける / 拒否する
- 電話または SIM カードの連絡先リストの転送（電話により異なります）；
- システムの通話記録の表示（電話により異なります）；
- ボイスメールの呼び出し。



ご使用のハンズフリー電話システムは、リスク要因をできるだけ減らす事で通信を容易にすることだけを目指としています。(1) 運転する国によって定められた法律を必ず遵守してください。



ディスプレイ画面

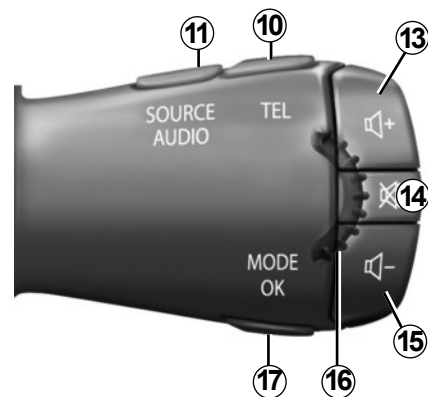
- A 現在時刻。
- B 電話情報（ネットワーク、バッテリー、および Bluetooth^(R) 経由の接続）。
- C 交通情報。
- D ランダムモード / トラックリピートモード。
- E 代替周波数。
- F 外気温度。
- G エアコン情報。
- H オーディオ情報（音源、曲名など）。

コントロールの説明 (1/4)

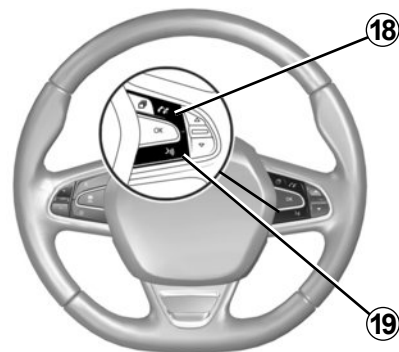
システムパネル



ステアリングホイール下のスイッチ



ステアリングコラムコントロール



コントロールの説明 (2/4)

	オーディオ機能	電話機能
1	カスタム設定メニューにアクセスする。	
2	<ul style="list-style-type: none"> - メニューを参照しているときに、前の画面 / 前のレベルに戻る。 - 現在のアクションをキャンセルする。 	
3	「テキスト」機能をオンにする。	
4, 16	選択範囲をスクロールします。	
5, 17	アクションを確認する。	
6	<ul style="list-style-type: none"> - 短く押す: メモリーしたラジオ局を呼び出す。 - 長押しする: ラジオ局をメモリーする。 音源を聴くとき (Bluetooth ^(R) 、USB、CD/CD MP3) : <ul style="list-style-type: none"> - キーパッド 6 のボタン「1」を短く押す: 「リピート」モードの作動。 - キーパッド 6 のボタン「2」を短く押す: 「シャッフル」モードの作動。 - キーパッド 6 のボタン「6」を短く押す: アルファベット順の検索の起動。 	<ul style="list-style-type: none"> - キーパッド 6 のボタン「6」を短く押す: アルファベット順の検索の起動。
7	回す: 現在聴いている音源の音量を調整。	
8	進む/止まる	
9	<ul style="list-style-type: none"> - 短く押す: トラック (CD/CD MP3/MP3/ Bluetooth^(R)/USB) またはラジオ周波数を変更する。 - 長押し: オーディオトラックの早送り/後方再生 (CD/CDMP3/MP3/ Bluetooth^(R)/USB) またはラジオ局をスクロールしてボタンが解放され、オーディオシステムによって局が検出されるまで。 	

コントロールの説明 (3/4)

	オーディオ機能	電話機能
10		<ul style="list-style-type: none"> - 短く押す: 「電話」メニューへのアクセス。 - 長押しする: 最後の番号を再ダイヤルする。
11	希望するオーディオの音源を選ぶ (接続されている場合): 「CD」 / 「MP3 CD」 → 「iPod ^(R) 」 / 「USB」 → 「AUX」 (ジャックソケット) → 「BT オーディオ」。	
12	<ul style="list-style-type: none"> - 短く押す: ラジオソースと周波数帯を選択: FM1 → FM2 → DR1 → DR2 → AM。 - 長押しする: ラジオ局リストを更新。 	
13	現在聴いている音源の音量を上げる。	
14	<ul style="list-style-type: none"> - 現在再生中のラジオソースのサウンドをオフにする。 - 機器のサウンドをオフにして、CD/CD MP3/USB/Bluetooth^(R) デバイスの再生を一時停止する。 	
15	現在聴いている音源の音量を下げる。	
16	回す: <ul style="list-style-type: none"> - ラジオ: 以前メモリーしたラジオ局のリストを参照。 - メディア: 前 / 次のトラックを再生。 	回す: <ul style="list-style-type: none"> - 「電話」メニュー: リストを参照。

コントロールの説明 (4/4)

	オーディオ機能	電話機能
17	<ul style="list-style-type: none">- 短く押す: 現在の再生リストを開く。- 押し続ける (「戻る」機能): 現在の操作をキャンセルします。	<ul style="list-style-type: none">- 短く押す: アクションを確認する。- 押し続ける: 現在の操作をキャンセルします。
18	電話を受けるとき: <ul style="list-style-type: none">- 短く押す: 通話に応答する。- 長押しする: 通話を拒否する。	
19	<ul style="list-style-type: none">- 短く押す: 音声認識をオンにする。- 長押しする: 音声認識をオフにする。	

操作

オン / オフ

8を短く押すと、オーディオシステムがオンになります。

オーディオシステムは、車両のイグニッションがオフの状態で使用できません。20分間作動します。8を押すと、さらに20分間作動します。

8を短く押すと、オーディオシステムがオフになります。

ソースの選択

11を繰り返し押し、さまざまな音源をスクロールします。オーディオソースは次の順序でスクロールされます: 「CD」 / 「MP3 CD」 → 「iPod^(R)」 / 「USB」 → 「AUX」 (ジャックソケット) → 「BT オーディオ」。

注: 10を押して電話メニューを表示します。

ラジオがオンのときに新しいメディア (CD/CD MP3, USB, AUX) を挿入すると、ソースが自動的に切り替わり、再生が開始されます。



12 キーを押してラジオソースを選択することもできます。12 ボタンを繰り返し押し、周波数帯が次の順番に表示されます: FM1 → FM2 → DR1 → DR2 → AM → FM1…

11 を押し、ステアリングコラムコントロールを使用して音源を変更できます。

ボリューム

ステアリングコラムコントロールの 7 または を回すか、13 または 15 を押し、音量を調節します。ディスプレイに「VOLUME」、続いて現在の設定値 (00 ~ 31) が表示されます。

ミュート

ステアリングコラムコントロールの 14 を短く押すと、メッセージ「ミュート」が画面に表示されます。

ステアリングコラムコントロールの 14 をもう一度短く押し、現在のソースの再生を再開します。

7 を回すか、またはステアリングコラムコントロールの 13または 15ボタン の 1つを押して、ミュート機能を無効にすることもできます。

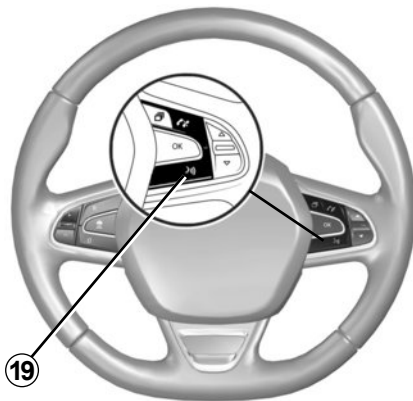
音声認識の使用

音声認識システム（電話によって異なる）

互換性のあるスマートフォンを使用して、マルチメディアシステムで音声認識システムを使用できます。これにより、ステアリングホイールを握ったままで、スマートフォンの機能を音声で制御することができます。

注：スマートフォンの音声認識システムでは、電話の機能のみを使用できます。ラジオ、Driving Eco2 などの、その他のマルチメディアシステムの機能と連動することはできません。

注：音声認識を使用するときは、お使いの電話に設定されている言語セットがシステムで使用されます。



作動

音声認識システムを作動させるには、次の操作を行う必要があります。

- お使いのスマートフォンで、3G、4G または Wifi 接続を取得します。
- スマートフォンの Bluetooth^(R) を有効にして、他の機器から接続できるようにします（方法については、電話のマニュアルを参照してください）。
- スマートフォンをマルチメディアシステムにペアリングして接続します（「電話のペアリング、ペアリング解除」の項を参照してください）。

- ステアリングホイールのボタン 19 を短く押します。

音声信号が、音声認識がオンになったことを示します。大きな声で明瞭に発声してください。

作動解除

ボタン 19 を押したままにします。

音声信号が、音声認識がオフになったことを示します。

注：音声認識機能のないスマートフォンとペアリングされた音声認識システムを使用しようとすると、マルチメディアシステムにメッセージが表示されて、そのことが通知されます。

ラジオを聴く (1/3)

周波数を選択する

希望する周波数帯 (FM1、FM2、DR1、DR2、AM、FM1 など) を選択します (12 を繰り返し押して)。

FM または AM ラジオを選択する

ラジオ局を選択するには、いくつかの方法があります。

自動検索

このモードは、自動スキャンを実行してラジオ局を検索します。9 を長押しします。

9 を離すと、一番近いラジオ局の周波数が表示されます。9 を押し続けている限り、ラジオの周波数が増減し続けます。

手動検索

このモードでは、9 を押してスクロールすることで、マニュアルで局を検索できます。

9 ボタンの 1 つを押すと、周波数が増減します。

局のメモリー

この動作モードでは、事前に設定したラジオ局を聴くことができます。

周波数帯を選択し、上記の方法を使ってラジオ局を選びます。

ラジオ局を保存するには、ピープ音が聞こえるまでキーパッド 6 のボタンの 1 つを押し続けます。

周波数帯あたり 6 局までをメモリーできます。

保存した局を呼び出すには、キーパッド 6 のボタンの 1 つを短く押します。

ラジオ局を選択する (FM/DR)

ラジオ局を選択するには、ボタン 4 の 1 つを押すか、またはステアリングコラムコントロールのコントロールノブ 16 を回します。

このリストには、使用する地域で強力な周波数を持つ最大 100 局のラジオ局を含めることができます。

局の最新のリストを取得するには、ラジオリスト (FM または DR) を更新します。

このセクションの「FM リストの更新」または「DR リストの更新」を参照してください。

ラジオを聴く (2/3)

「ラジオの設定」

ボタン 1 を押して設定メニューを表示し、4 ボタンを使用して「ラジオの設定」を選択し、5 を押して確定します。ご利用頂ける機能は次の通りです：

- 「TA」、
- 「DR アラート」、
- 「FM ラジオリストの更新」、
- 「DR リストの更新」、

交通情報：「TA」

この機能が有効な場合、オーディオシステムで一部の FM または DR ラジオ局が送信している交通情報を自動的に再生できます。

注：AM 周波数帯では、この機能は使用できません。

情報局を選択して、別の聴取ソースを選ぶかどうかを選択します。

交通情報は、音源とは関係なく自動的に優先送信されます。

この機能を作動または解除するには、「システム設定」の「ラジオ設定」の項を参照してください。

ニュース速報：「DR アラート」

この機能が有効になっている場合、一部の「FM」または「DR」ラジオ局が自動送信している情報をすぐに聴く事ができます。

続いて別の音源を選択すると、選択したプログラムのタイプの放送が、他の音源の読み込みを中断します。

この機能を作動または解除するには、「システム設定」の「DR アラート」の情報を参照してください。

「FM ラジオリストの更新」

この機能では、地域のすべての FM 局を更新できます。

- 1 を押して設定メニューを表示し、4 ボタンを使用して「ラジオの設定」を選択し、5 を押して確定します。
- 4 ボタンを使用して「FM ラジオリストの更新」を選択し、5 を押して確定します。

地域の FM 局の自動更新が開始されません。メッセージ「FM リストの更新」が画面に表示されます。更新が終了したら、「FMリスト更新」メッセージが表示されます。

注：別のソースが選択されている場合は、FM ラジオリストの更新はバックグラウンドで継続されます。

保存されている周波数から別の周波数に切替えるには、キーパッドの 6 ボタンの 1 つを押します。

注：FM ラジオリストを更新することもできます (12 を押し続けて)。

ラジオを聴く (3/3)

「DR リストの更新」

この機能では、地域のすべての DR 局を更新できます。

- 1 を押して設定メニューを表示し、4 ボタンを使用して「ラジオの設定」を選択し、5 を押して確定します。
- 4 ボタンを使用して「DR リストの更新」を選択し、5 を押して確定します。
- 地域のデジタル地上波ラジオ局のリストの自動更新が開始されます。メッセージ「DR リストの更新」が画面に表示されます。

自動周波数スキャンが終了したら、画面にメッセージ「DR リストの更新」が表示されます。

注: DR ラジオリストを更新することもできます (12 を押し続けて)。

ラジオ局を選ぶ

希望する周波数帯 (FM1、FM2、DR1、DR2 または AM) を選択します (12 を繰り返し押して)。

- 4 ボタンの 1 つを押して、FM、DR リスト、または AM ラジオ周波数のラジオ局をスクロールします。
- ステアリングコラムコントロールのコントロールノブ 16 を回して、以前に保存されたラジオ局をスクロールします。
- 9 を押して、FM/AM ラジオ周波数または DR ラジオ局をスクロールします。

ラジオテキストの表示

テキストメニューを表示するには、3 を短く押します。ご利用頂ける機能は次の通りです:

- 「ラジオテキスト」(FM および DR のみ)。
- 「Intellitext」(DR のみ)。
- 「EPG」(DR のみ)。

注: 情報がない場合は、メッセージ「No Radio Text available」が画面に表示されます。

テキスト情報「ラジオテキスト」(FM/DR)

一部の FM または DR ラジオ局は、放送中の番組に関連するテキスト情報 (例えば曲名、アーティスト名) を送信しています。

注: これらの情報は、一部のラジオ局でのみ使用可能です。

「Intellitext」機能 (DR)

この機能で、一部のラジオ局に保存されているテキスト情報にアクセスできます。テキストをスクロールして、ビジネス、政治、健康、天気、スポーツなどの更新情報を表示できます。

「EPG」プログラムガイド (DR)

この機能を有効にすると、オーディオシステムに局のその日の番組予定が表示されます。

注: この情報は、選択した局の次の 3 つの時間枠についてのみ利用できます。

CD、CD MP3 を聴く (1/2)

読み取り可能なフォーマットの仕様

CDA/MP3 拡張子を持つファイルのみを再生できます。

CD にオーディオ CD ファイルと圧縮オーディオファイルの両方が含まれている場合、圧縮オーディオファイルは認識されません。

注：著作権で保護されているファイルは読み取れない場合があります。

注：フォルダ名とファイル名を読みやすくするために、64 文字以下の名前を付けて、特殊文字の使用は避けることをお勧めします。

CD/CD MP3 のメンテナンス

再生品質を維持するために、CD/CD MP3 を熱や直射日光にさらさないでください。

CD/CD MP3 を清掃するには、柔らかい布で CD の中心部から外側に向かって拭きます。

基本的に、メンテナンスと保管に関しては CD メーカーの助言を参照してください。

注：傷や汚れのある CD は読み取れない場合があります。

CD/CD MP3 の挿入

「使用中の注意事項」の章を参照してください。

プレーヤーに CD がないことを確認してから、CD を印刷面を上にして挿入します。

CD/CD MP3 を聴く

CD/CD MP3 が挿入されると（印刷面を上にして）、オーディオシステムが自動的に CD/CD MP3 音源に切り替わり、最初のトラックの再生を開始します。

ラジオを聴いているときに CD/CD MP3 がプレーヤー内にある場合は、CD/CD MP3 の再生を選択できます（11 を押して）。オーディオシステムが CD/CD MP3 音源に切り替わると、すぐに再生が開始されます。

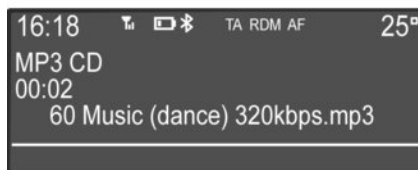
トラックの検索

9 を押して、前のトラックまたは次のトラックに移動します。

速読

進むまたは戻るには、9 を押し続けてください。
リーディングは、ボタンから指を離れたときに再開されます。

CD、CD MP3 を聴く (2/2)



シャッフル (「RDM」)

CD/CD MP3 を挿入したら、キーパッド 6 のボタン「2」を押して、CD/CD MP3 のすべてのトラックに対して、シャッフル機能をオンにします。

シンボル「RDM」がスクリーンに表示されます。次に、トラックがランダムに選択されます。1 つのトラックから次のトラックへの移行はランダムに行われます。

キーパッド 6 のボタン「2」をもう一度押すと、シャッフル機能がオフになり、シンボル「RDM」が消えます。

オーディオシステムをオフにして CD/CD MP3 を取り出すと、シャッフル機能が無効になります。

注：CD MP3 では、シャッフル機能は現在再生されているフォルダに適用されます。別のフォルダに変更して、後者にシャッフル機能を適用します。

リピート (「RPT」)

この機能で、トラックを繰り返すことができます。

キーパッド 6 のボタン「1」を押して、リピート機能を有効にします。シンボル「RPT」がスクリーンに表示されます。

キーパッド 6 のボタン「1」をもう一度押すと、リピート機能がオフになり、シンボル「RPT」が消えます。

注：シャッフル機能が有効な場合にリピート機能を有効にすると、シャッフル機能が無効になり、シンボル「RDM」が消えます。

一時停止

14 を押して、外部音源の音量または再生を一時的に停止させます。

音量を変更した場合、プログラムソースを変更した場合、自動ニュースキャストをオンにした場合、この機能は自動的に無効になります。

テキスト (CD-Text または ID3 タグ) の表示

3 を押して ID3 タグ情報 (アーティスト名、アルバム名、経過時間、トラック名) をスクロールします。

ID3 タグ情報を 1 ページに表示するには、3 を押し続けます。

CD/CD MP3 を取り出す

イジェクトボタンを押して、リモート CD プレーヤから CD/CD MP3 を取り出します。

注：取り出されたディスクを 20 秒以内に引き除かない場合は、CD プレーヤーに自動的に再挿入されます。

外部音源 (1/3)

オーディオシステムには、1 つ以上の外部のオーディオソース (USB キー、MP3 プレーヤー、iPod^(R)、Bluetooth^(R) ポータブルプレーヤー等) を接続するためのポートがあります。

プレーヤーを接続するにはいくつかの方法があります。

- USB 接続。
- Jack ソケット。
- Bluetooth^(R)接続。

注: 補助オーディオソースのフォーマットには、MP3、WMA、AAC があります。

USB 接続。

接続

MP3プレーヤ、iPod^(R)、または USBキーを USB ポートに接続します。

デバイスが接続されると、トラックが自動的に表示されます。

現在使用されているディレクトリを表示するには、ボタンの 1 つを押して 4 またはステアリングコラムコントロールのコントロールノブ 16 を回します。

フォルダのツリーの前の階層に戻るには、2 ボタンを押して下さい。

使用方法

- MP3 プレーヤおよび iPod^(R):

MP3 プレーヤーまたは iPod^(R) に挿入すると、オーディオシステムからメニューにアクセスできるようになります。

お使いの MP3 プレーヤまたは iPod^(R) と同じプレイリストがシステムに保存されます。

- USB キー:

オーディオファイルが自動的に起動します。音源の階層を表示するには、4、ボタンのいずれかを押すか、ステアリングコラムコントロールノブ 16 を回します。

現在再生中のフォルダのトラック名で検索するには、5 または 17 を押して、キーパッド 6 のボタン「6」をクリックします。4 ボタンまたはステアリングコラムコントロールのコントロールノブ 16 を使用して、聴きたいトラックの最初の文字を選択し、5 または 17 を押して確定します。

注: USB キーでのランダム再生は、CD や MP3 の場合と同様に機能します。詳細については、「CD/CD MP3 を聴く」の項の「RDM」の情報を参照してください。

注: USB キーでのリピート機能は、CD や MP3 の場合と同様に機能します。「CD/CD MP3 を聴く」の「リピート (「RPT」)」の項を参照してください。

USB ポートによる充電

お使いのポータブルプレーヤーの USB コネクタをユニットの USB ポートに接続すると、使用中 (音楽を聴くなど) に電池の充電や充電量の維持が可能です。

注: デバイスによっては、マルチメディアシステムの USB ポートに接続すると、電池の充電や充電量の維持を行うことができません。

外部音源 (2/3)

接続Jack

接続

専用ケーブルを使用して（非付属品）、補助入力の Jack ソケットをポータブルオーディオプレーヤーのヘッドホンプラグ（通常 3.5 mm ジャック）に接続します。

注：オーディオシステムを通して直接トラックを選択することはできません。トラックを選択するには、車を止めてプレーヤーを直接操作する必要があります。

使用方法

「AUX」という文字がオーディオシステム画面に表示されます。アーティスト名またはトラック名は表示されません。

注：Jack, の感度を調節するには、「システム設定」の項を参照してください。



Bluetooth^(R) オーディオ再生

Bluetooth^(R) 機器を使用するには、始めて使用するときにその機器を車両とペアリングする必要があります。詳細については、「概要」の「Bluetooth^(R) 機能」の項を参照してください。ペアリングにより、オーディオシステムが Bluetooth^(R) ポータブルプレーヤーを認識して保存できるようになります。

注：お使いの Bluetooth^(R) デジタル機器に電話機能とポータブルオーディオプレーヤー機能が搭載されている場合、これらの機能の 1 つをペアリングすると、他の機能も自動的にペアリングされます。

接続

デバイスがすでにペアリングされている場合は、以下の手順を実行します。

- ポータブルオーディオプレーヤーの Bluetooth^(R) を有効にして、他のデバイスから接続できるようにします（方法については、オーディオプレーヤーのマニュアルを参照してください）。
- Bluetooth^(R) オーディオの音源を選びます（11 を押して）。

使用方法

ポータブルオーディオプレーヤーは、システムに接続してそのすべての機能にアクセスできるようにする必要があります。

注：前もってペアリングされていない限り、システムにはポータブルプレーヤーは接続できません。

Bluetooth^(R) デジタルプレーヤーがいったん接続されると、オーディオシステムからプレーヤーを直接操作できません。



交通事情が可能な場合にオーディオプレーヤーを操作して下さい。
運転中にはオーディオプレーヤーを格納してください。（急ブレーキまたは衝撃の際に飛び出す恐れがあります）。

外部音源 (3/3)



オーディオトラックの再生中に、4、5、17 のいずれかのボタンを押して、トラックを選択するさまざまな方法（「アーティスト」、「トラック」、「アルバム」、など）を表示します。

注：表示は、接続されている電話のメーカーとモデルによって異なります。現在再生中のフォルダのトラック名を検索するには、5 または 17 を押して、キーパッド 6 のボタン「6」をクリックします。4 ボタンまたはステアリングコラムコントロールのコントロールノブ 16 を使用して、聴きたいトラックの最初の文字を選択し、5 または 17 を押して確定します。

オーディオトラックを一時停止するには、14 を押します（もう一度押すと、再生が再開されます）。

9 を押して、ポータブルオーディオプレーヤーの前または次のトラックに移動します。

注：アクセス可能な機能は、ポータブルプレーヤーのタイプと、オーディオシステムとの互換性によって異なります。

注：場合によっては、機器のマニュアルを参照して手順を完了させる必要があります。

シャッフル（「RDM」）

Bluetooth^(R) デバイスを接続したら、キーパッド 6 のボタン「2」を押して、フォルダのすべてのトラックに対して、シャッフル機能をオンにします。

シンボル「RDM」がスクリーンに表示されます。次に、トラックがランダムに選択されます。1 つのトラックから次のトラックへの移行はランダムに行われます。

キーパッド 6 のボタン「2」をもう一度押すと、シャッフル機能がオフになり、シンボル「RDM」が消えます。

オーディオシステムをオフにすると、シャッフル機能が無効になります。

注：オーディオシステムに接続されている Bluetooth^(R) デバイスでは、シャッフル機能が現在再生中のフォルダに適用されます。別のフォルダに変更して、後者にシャッフル機能を適用します。

リピート（「RPT」）

この機能で、トラックを繰り返すことができます。

キーパッド 6 のボタン「1」を押して、リピート機能を有効にします。シンボル「RPT」がスクリーンに表示されます。

キーパッド 6 のボタン「1」をもう一度押すと、リピート機能がオフになり、シンボル「RPT」が消えます。

注：シャッフル機能が有効な場合にリピート機能を有効にすると、シャッフル機能が無効になり、シンボル「RDM」が消えます。

電話のペアリング、ペアリング解除 (1/3)



接続 Bluetooth^(R)

オーディオシステムの Bluetooth^(R) 機能を有効にする。

- 10 を押します。
- ステアリングコラムコントロールのボタン 4またはコントロールノブの 16 を使用して、「Bluetoothのオン / オフ」を選択し、5 または 17 を押して確定します。
- ステアリングコラムコントロールのボタン 4またはコントロールノブ 16を使用して、「ON」を選択し、5 または 17 を押して確定します。

電話のペアリング

ハンズフリー電話システムを使用するには、お使いの Bluetooth^(R) 携帯電話を車両とペアリングさせます。電話の Bluetooth^(R) が作動しており、そのステータスが「認識」になっていることを確認します。

ペアリングはハンズフリー電話システムが電話を認識して、記憶することができます。電話を 5 台までペアリングできますが、一度に接続できるのは 1 台だけです。

ペアリングは、オーディオシステムまたは電話経由で行うことができます。オーディオシステムと電話がオンになっている必要があります。

注：別の電話がすでにオーディオシステムに接続されているときに新しい電話をペアリングした場合、この後者は新しいペアリングされた電話によって切り離され、置き換えられます。

ペアリングには次の 2 つの方法があります。

- 「ラジオの表示」。
- 「電話のペアリング」。

電話のペアリング、ペアリング解除 (2/3)

「ラジオの表示」方法

この方法で、電話からオーディオシステムを検索することができます。

- ボタン 10 を押します。
- ステアリングコラムコントロールのボタン 4またはコントロールノブ 16 を使用して、「ラジオを見るようにする」を選択し、5 または 17 を押して確定します。
- オーディオシステム画面にメッセージが表示され、60 秒のカウントダウンが開始されます。
- 電話で「MY CAR」オーディオシステムを検索し、それを選択します。
- 電話にメッセージが表示され、ペアリング要求を確認することができます。

連絡先と発信ログの共有の許可を、電話が求めてくる場合があります。

メッセージ「MyCAR connected」が電話に表示され、オーディオシステムがペアリングされて電話に接続されたことが示されます。

ペアリングが失敗した場合は、システム画面が初期メニューに戻ります。

ハンズフリー電話システムのメモリがいっぱいになっている場合は、新しい電話をペアリングする前に、既存の電話を解除する必要があります。

「電話のペアリング」方法

この方法で、オーディオシステムから電話を検索することができます。この方法を使って電話をペアリングするには、次の手順を実施します。

- ボタン 10 を押します。
- 4ボタンまたはステアリングコラムコントロールのコントロールノブ 16 を使用して、「電話のペアリング」を選択し、5 または 17 を押して確定します。

近くの Bluetooth^(R) 機器の検索が始まります（この検索には最大 60 秒がかかります）。

4ボタンまたはステアリングコラムコントロールのコントロールノブ 16 を使用して、オーディオシステムにペアリングする電話を選択し、5 または 17を押して確定します。

電話によって、またオーディオシステムから求められた場合は、電話のオーディオシステム画面に表示される Bluetooth^(R) コードを入力してマルチメディアシステムとペアリングするか、ペアリング要求を確認します。

連絡先と発信ログの共有の許可を、電話が求めてくる場合があります。共有を受け入れて、オーディオシステムにこの情報が表示されるようにします。

注：お使いのオーディオシステムのメモリーには制限があり、電話からすべての連絡先をインポートできない場合があります。

オーディオシステム画面にメッセージが表示され、ペアリングが正常に行われたことを知らせます。デバイスは、自動的に車に登録され接続されます。

60 秒経過してペアリングに失敗した場合は、これらの手順を繰り返します。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

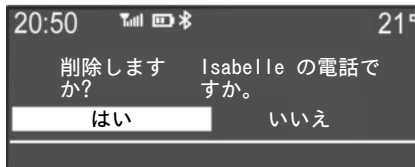
電話のペアリング、ペアリング解除 (3/3)



電話のペアリング解除

ペアリングを解除すると、ハンズフリーシステムのメモリーから電話が消去されます。

- 10 を押して電話設定メニューを表示します。
- ステアリングコラムコントロールのボタン 4 またはコントロールノブ 16 を使用して「電話の削除」を選択し、ボタン 5 または 17 を押して確定します。



- リストから、ステアリングコラムコントロールのボタン 4 またはコントロールノブ 16 を使用して、ペアリングを解除する電話を選択し、5 または 17 で確定します。
- 「Yes」を選択し、5 または 17 を押して確定します。

注：電話のペアリングを解除すると、オーディオシステムにダウンロードされたすべて連絡先と関連する通話履歴がモバイル電話帳から消去されます。



ご使用のハンズフリー電話システムは、リスク要因をできるだけ減らす事で通信を容易にすることだけを目的としています。(1) 運転する国によって定められた法律を必ず遵守してください。

電話の接続、取り外し (1/3)

ペアリングされた電話の接続

すべての機能にアクセスするには、電話をハンズフリーシステムに接続する必要があります。

予めペアリングされていない場合は、ハンズフリーフォンシステムに接続されている電話はありません。

「電話のペアリング、ペアリング解除」の「電話のペアリング」の項を参照してください。

注：電話の Bluetooth^(R) 接続がオンになっていて、「認識」に設定されている必要があります。

自動接続

イグニッションスイッチが ON になると、ハンズフリー電話システムが近くでペアリングされている電話を検索します。

注：前回接続された電話が優先的に接続されます。

検索は、ペアリングされている電話が見つかるまで続きます（最大 5 分かかる場合があります）。

特徴：

- イグニッションスイッチを ON にすると、自動電話接続を使用できます。 場合によっては、ハンズフリー電話システムで自動 Bluetooth^(R) 接続をオンにする必要があります。 これを行うには、電話の取扱説明書を参照してください。
- 再接続する際、ハンズフリーシステムの範囲内にペアリングされている電話が 2 台ある場合、車両の外にあったとしてもハンズフリーシステムの範囲内であれば前回接続された電話が優先されます。

注：ハンズフリー電話システムに接続したときにすでに通話中の場合、電話が自動的に接続され、会話が車両のスピーカーに切り替えられます。



ご使用のハンズフリー電話システムは、リスク要因をできるだけ減らす事で通信を容易にすることだけを目的としています。(1) 運転する国によって定められた法律を必ず遵守してください。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



手動接続（接続している電話の変更）

10 を押して電話設定メニューを表示し、4 ボタンまたはステアリングコラムコントロールのコントロールノブ 16 を使用して「電話を選択」メニューを選択し、5 または 17 を押して確定します。

すでにペアリングされている電話のリストが表示されます。

リストから接続する電話を選択するには、4 ボタンまたはステアリングコラムコントロールのコントロールノブ 16 を使用して、5 または 17 を押して確定します。



電話が接続されたことを伝えるメッセージが表示されます。

注：電話がすでに接続されている場合、すでにペアリングされている電話のリストにある電話を変更すると、既存の接続が新たに要求された電話に自動的に置き換えられます。

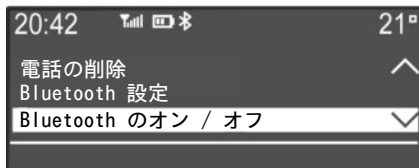
接続失敗

接続失敗の場合は、次を確認してください：

- 電話がオンになっている。
- 電話の電池が放電されていない。
- 電話がすでにハンズフリー電話システムにペアリングされている。
- 電話とシステムの Bluetooth^(R) がオンになっている。
- 電話が、オーディオシステムの接続要求を受け入れるように設定されていません。

注：ハンズフリー電話システムを長時間使うと、お使いの電話のバッテリーは、より早く放電します。

電話の接続、取り外し (3/3)



電話の取り外し

電話を取り外すには、次の操作を行います。

- オーディオシステムの Bluetooth^(R) 機能を切断する。
- 電話の Bluetooth^(R) を無効にします。
- オーディオシステムの電話メニューからペアリングされた電話を削除する。

電話がオフの場合、電話は取り外されます。

次に、電話が取り外されたことを確認するメッセージが画面に表示されません。

注：電話を取り外す時に通話中の場合、通話は自動的にお使いの電話機に転送されます。

オーディオシステムの Bluetooth^(R) 機能を解除するには：

- 10 を押します。
- 4 ボタンまたはステアリングコラムコントロールのコントロールノブ 16 を使用して、「Bluetooth のオン / オフ」を選択します。
- 5 または 17 を押して確定します。
- ステアリングコラムコントロールのボタン 4 またはコントロールノブ 16 を使用して、「作動解除」を選択します。
- 5 または 17 を押して、この選択を確定します。

電話の Bluetooth^(R) をオフにするには、電話に付属している説明書を参照して下さい。

Bluetooth^(R) 電話を切断して取り外すには、「電話のペアリング、ペアリング解除」の項にある「電話のペアリング解除」の情報を参照してください。

電話をかける、電話を受ける (1/4)

電話帳から電話をかける

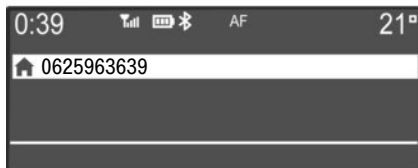
電話をペアリングすると、電話帳がオーディオシステムに自動的にアップロードされます（電話によって異なります）。

10 を押して電話メニューを表示し、4 ボタンまたはステアリングコラムコントロールのコントロールノブ 16 を使用して「連絡先」を選択し、5 または 17 を押して、連絡先リストを確定して表示します。

4 ボタンまたはステアリングコラムコントロールのコントロールノブ 16 を使用して、リストから電話する連絡先を選択し、5 を押すか、または電話をかけて 17 を確認します。

「連絡先」メニューから、名前で連絡先を検索して、次のことを行うことができます。

- キーパッド 6 のボタン「6」を押して、デジタルアルファベットを表示します。
- ステアリングコラムコントロールのボタン 4 またはコントロールノブ 16 を使用して、アルファベットの文字をスクロールします。



- 目的の文字を選択したら、ボタン 5 または 17 を押して確定します。
- ボタン 4、またはステアリングコラムコントロールのコントロールノブ 16 を使用して必要な連絡先が見つかったら、5 または 17 を押して、連絡先に記録されている番号を表示します。

- 4 ボタン、またはステアリングコラムコントロールのコントロールノブ 16 を使用して必要な番号を選択し、5 または 17 を押して確定し、通話を行います。

注：前の画面に戻るには、2 を短く押すか、17 を押し続けます。

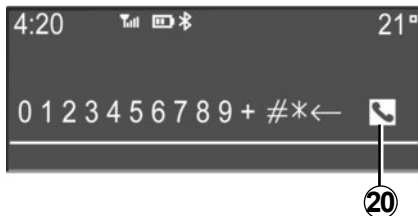
電話をかける、電話を受ける (2/4)



通話履歴から連絡先に電話をかける

通話履歴を表示するには:

- 10 を押します。
- ステアリングコラムコントロールのボタン 4 またはコントロールノブ 16 を使用して、「通話履歴」を選択します。
- 5 または 17 を押して、選択を確定します。
- 「発信」、「着信」、または「不在着信」メニューを選択します。



- 4 ボタンまたはステアリングコラムコントロールのコントロールノブ 16 を使用して、リストから電話する連絡先または番号を選択し、5 または 17 を押して電話をかけます。

番号をダイヤルして電話をかける

番号をダイヤルして電話をかけるには:

- 10 を押します。
- ステアリングコラムコントロールのボタン 4 またはコントロールノブ 16 を使用して、「ダイヤル」を選択します。

- 5 または 17 を押して各桁を確認します。
- 番号の入力が完了したら、4 ボタンまたはステアリングコラムコントロールのコントロールノブ 16 を使用して 20 を選択し、5 または 17 を押して確定して電話をかけます。

10 を押し続けて、最後の番号にリダイヤルすることができます。

電話をかける、電話を受ける (3/4)



電話を受ける

通話を受けるときは、発信者の番号が画面に表示されます（この機能は、サービスプロバイダーと契約したオプションによって異なります）。

発信者の番号が記録されているものと一致する場合は、番号の代わりに発信者の名前が表示されます。

発信者の番号が表示されない場合は、メッセージ「番号非表示」が画面に表示されます。

着信通話を受け付けるには、ステアリングホイールのボタン 18 を短く押します。また、ステアリングコラムコントロールのボタン 4 またはコントロールノブ 16 を使用して 21 を選択し、5 または 17 を押して、通話を確認および承諾することもできます。

着信を拒否するには、ステアリングホイールのボタン 18 を長押しします。また、ステアリングコラムコントロールのボタン 4 またはコントロールノブ 16 を使用して 23 を選択し、5 または 17 を押して、通話を確認および拒否することもできます。

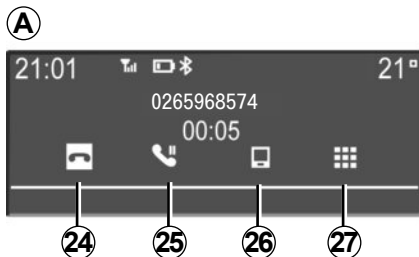
着信を保留にするには、ステアリング 22 コラムコントロールのボタン 4 またはコントロールノブ 16 を使用して、5 または 17 を押し、着信を確認して保留にします。

システムを使用して、電話が接続されているときに通話を待機することができます（サブスクリプションによって異なります）。



電話番号を押すまたは連絡先を検索する前に、車両を停止させることをお勧めします。

電話をかける、電話を受ける (4/4)



通話中

次のようなことができます:

- ステアリングホイールのボタン 18 を押して電話を切ります。また、ステアリングコラムコントロールのボタン 4 またはコントロールノブ 16 を使用して 24 を選択し、5 または 17 を押して、通話を終了することもできます。
- 4 ボタンまたはステアリングコラムコントロールのコントロールノブ 16 を 26 を使用して、オーディオシステムから電話に会話を切り替え、5 または 17 を押して確定します。

注: 26 を選択すると、画面 B が表示されます。画面 A に戻るには、28 を選択します。

- 4 ボタンまたはステアリングコラムコントロールのコントロールノブ 16 を使用して 28 を選択し、電話からオーディオシステムに会話を切り替え、5 または 17 を押して確定します。
- ステアリングコラムコントロールのボタン 4 またはコントロールノブ 16 を使用して、25 を選択し、5 または 17 を押して確定し、通話を保留にします。

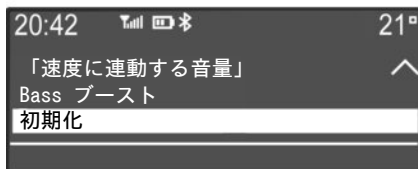
- ステアリングコラムコントロールのボタン 4 またはコントロールノブ 16 を使用して、29 を選択し、5 または 17 を押して確定し、保留通話を再開します。
- ステアリングコラムコントロールのボタン 4 またはコントロールノブ 16 を使用して、30 を選択し、5 または 17 を押して確定し、保留通話を終了します。
- 4 ボタンまたはステアリングコラムコントロールのコントロールノブ 16 を使用して 27 を選択し、オーディオシステムから電話のキーパッドを操作して、5 または 17 を押して確定します。



「音を調整する」

1を押して設定メニューを表示させて下さい。4 ボタンを使用して「オーディオ設定」を選択し、5 を押して確定します。次の設定を利用できます：

- 「イコライザー」、
- 「空間化」、
- 「AUX入力」、
- 「速度に連動する音量」、
- 「低音ブースト」、
- 「初期化」。



「イコライザー」

「イコライザー」を選択し、5 を押して、次の順に異なる項目を選択します。

- 「Bass」、
- 「スタンダード」、
- 「Treble」。

「空間化」

- 「バランス」(左右のサウンドバランス)、
- 「Fade」(前後のサウンドバランス)。

ボタン 4 を使用して、それぞれの設定値を変更できます。

5 を押して確認し、前の選択内容に戻ります。

現在のメニューを終了するには、2 を押します。

「AUX入力」

1を押して設定メニューを表示させて下さい。「オーディオ設定」を選択し、5 を押して確定します。4 ボタンを使用して、「AUX入力」項目を選択して、次のオプションにアクセスします。

- 「Low」、
- 「Medium」、
- 「High」。

それぞれの設定値は以下のとおりです。

- 「Low」(1200 mV)、
- 「Medium」(600 mV)、
- 「High」(300 mV)。

システム調整 (2/5)

「速度に連動する音量」

車両速度に応じて、オーディオシステムの音声ボリュームが変化します。

「オーディオ設定」メニューに移動し、5 を押して「km/h」を確認します。

ボタン 4 を使用して音量 / 速度比を調整し、5 を押して希望する比率を確定します。

「低音ブースト」

「低音ブースト」機能は低音域を増強します。

この機能を有効または無効にするには、ボタン 4 を使用して「ON」または「OFF」を選択し、5 を押して確定します。

「初期化」

1 ボタンを押して電話設定メニューを表示します。ボタン 4 を使用して「オーディオ設定」を選択し、5 を押して設定メニューを表示し、「初期化」を選択します。

「5」を押して選択を確定します。

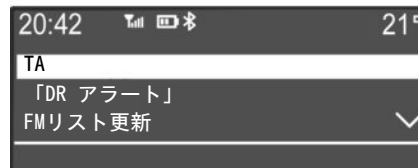
すべての設定値がデフォルト値に戻ります。

ラジオの設定

ラジオの設定にアクセスするには、ラジオフロントパネルのボタン 1 を押し、次に「ラジオ設定」を選択して、ラジオフロントパネルのボタン 4 またはステアリングコラムコントロールのコントロールノブ 16 を使用します。ラジオフロントパネルの 5、またはステアリングコラムコントロールの 17 を押して確定します。

次の設定を利用できます：

- 「TA」（交通情報）、
- 「DR アラート」（ニュース速報）、



- 「FMリスト更新」、
- 「DRリスト更新」。



安全のためシートの調節は必ず車が停止している状態で行ってください。

システム調整 (3/5)

時計の調整

この機能では、時間を設定できます。

1 ボタンを押して電話設定メニューを表示します。4 ボタンを使用して「時計」を選択し、5 を押して確定します。次の設定を利用できます：

- 「時間設定」：時間と分を設定します。
- 「表示」：時刻表示形式「12時間」または「24時間」の選択。

「TA」（交通情報）

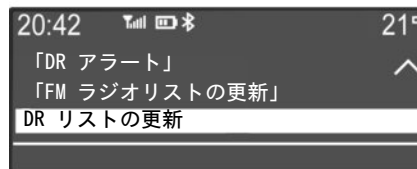
この機能を作動または解除するには、次の操作を実行します。

- ボタン 1 を押して設定メニューを表示し、4 ボタンを使用して「ラジオの設定」を選択して、5 を押して確定します。
- 4 ボタンを使用して「TA」を選択し、5 を押して確定します。
- 「YES」または「NO」を選択して、「TA」機能を作動または解除します。



「DR アラート」（ニュース速報）

- ボタン 1 を押して設定メニューを表示して、4 ボタンを使用して「ラジオの設定」を選択し、5 を押して確定します。
- ボタン 4 を使用して「DR 警告」を選択し、5 を押して確定します。
- 4 ボタンを使用して聴取するニュース速報を選択し、5 を押して確定します。



「FM ラジオリストの更新」

「ラジオ機能」の項の「FM ラジオリストの更新」を参照してください。

「DR リストの更新」

「ラジオ機能」の項の「DR リストの更新」を参照してください。

システム調整 (4/5)

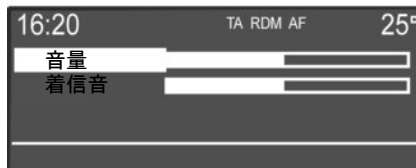


言語を選択する

この機能で、オーディオシステムで使われる言語を変更する事ができます。

ボタン 1 を押して設定メニューの「言語」項目にアクセスして、4 ボタンを使用して必要な言語を選択し、5 を押して確定します。

2 を短く押すかまたは 17 を長押しして、前のメニューに戻ることができます。



「Bluetooth 設定」

電話がシステムに接続されていない

ボタン 10 を押して電話メニューにアクセスし、ボタン 4 を使用して「Bluetooth 設定」項目を選択し、5 を押して確定します。

次の設定を利用できます：

- 「音量」： 通話または呼び出し音ボリュームの調整。

- 「着信音」： 車両の呼び出し音を作動させるか、電話に転送します。

Bluetooth^(R) で着信音または通話音量を設定するには、ボタン 4 を使用して「音量」を選択し、5 を押して確定します。

新しいサブメニューが表示されます。

- 「呼出し音」、
- 「通話」。

4 ボタンを使用して、2 つの項目のいずれかを選択し、5 を押して確定します。

音量を上げたり下げたりするには、4 を押してから 5 を押して確定します。

電話のブランドとモデルによっては、ハンズフリー機能が車両のオーディオシステムと部分的または完全に互換性がある場合があります。

故障診断 (1/3)

システム		
不具合	考えられる原因	解決法
音が出ない。	音量が最小か一時停止になっています。	音量を上げるか一時停止を解除します。
オーディオシステムが動作せず、ディスプレイが点灯しない。	オーディオシステムがオフになっています。	オーディオシステムをオンにします。
	オーディオシステムのヒューズが切れています。	ヒューズを交換します（車両の取扱説明書の「ヒューズ」を参照）。
オーディオシステムが動作しないが、ディスプレイは点灯する。	音量が最小になっています。	13 を押すか、または 7 を回します。
	スピーカーがショートしています。	メーカーにお 問い合わせください。
ラジオまたは CD を使用したときに、右または左のスピーカーから音が出ない。	左右の音響のバランスが不正です。	左右の音響のバランスを修正します。
	スピーカーが接続されていません。	メーカーにお 問い合わせください。
ラジオの受信状態が悪いか、受信できない。	ラジオが合わせている送信機から車両の位置が離れすぎています（バックグラウンドノイズまたは干渉）。	良好なローカル信号を提供する別の送信機を検索します。
	エンジンからの干渉により受信が妨げられています。	メーカーにお 問い合わせください。
	アンテナが損傷しているか、接続されていません。	メーカーにお 問い合わせください。

故障診断 (2/3)

CD/CD MP3		
不具合	考えられる原因	解決法
CD/CD MP3 の最初の読み取り時間が長すぎる。	CD が汚れています。	CD を取り出して清掃します。
	CD MP3.	CD MP3 のスキャンには時間がかかるため、しばらく待ちます。
オーディオシステム画面に「CD エラー」が表示されるか、またはまたはオーディオシステムによってCD/CD MP3 が排出されます。	CD が正しく挿入されていないか、損傷しているか、互換性がありません。	CD/CD MP3 を取り出します。きれいで損傷がなく互換性のある CD/CD MP3 を正しく挿入します。
CD MP3 のいくつかのファイルが読み取れない。	同じ CD にオーディオファイルと非オーディオファイルが保存されています。	オーディオファイルと非オーディオファイルを別の CD に保存します。
オーディオシステムが CD MP3. を読み取れない。	CD が 8 倍速以下または 16 倍速以上の速度で書き込まれています。	CD を 8 倍速で書き込みます。
	CD がマルチセッションモードで書き込まれています。	CD をディスクアットワンスモードで書き込むか、CD を「トラックアットワンスモード」で書き込んで、最後のセッション後にディスクをファイナライズします。
CD MP3 の再生品質が劣悪である。	CD が黒または低反射率の色です。これは再生品質を低下させます。	CD を白または明るい色の CD にコピーします。

故障診断 (3/3)

電話		
不具合	考えられる原因	解決法
電話がオーディオシステムに接続されない。	<ul style="list-style-type: none"> - 電話がオフになっています。 - 電話の電池が放電しています。 - 電話がすでにハンズフリー電話システムにペアリングされていません。 - 電話とシステムの Bluetooth^(R) がオンになっていません。 - 電話が、マルチメディアシステムの接続要求を受け入れるように設定されていません。 	<ul style="list-style-type: none"> - 電話をオンにします。 - 電話の電池を充電します。 - 電話をハンズフリー電話システムにペアリングします。 - 電話とシステムの Bluetooth^(R) をオンにします。 - 電話が、マルチメディアシステムの接続要求を受け入れるように設定します。
Bluetooth ^(R) ポータブルオーディオプレーヤーがシステムに接続されない。	<ul style="list-style-type: none"> - ポータブルオーディオがオフになっています。 - 機器の電池が放電されています。 - 電話がハンズフリー電話システムにペアリングされていません。 - ポータブルオーディオプレーヤーとオーディオシステムの Bluetooth^(R) がオンになっていません。 - 電話が、ポータブルオーディオプレーヤーの接続要求を受け入れるように設定されていません。 - ポータブルオーディオプレーヤーで音楽がオンになっていません。 	<ul style="list-style-type: none"> - ポータブルオーディオプレーヤーをオンにします。 - ポータブルオーディオプレーヤーの電池を充電します。 - ポータブルオーディオプレーヤーがオーディオシステムにペアリングします。 - ポータブルオーディオプレーヤーとオーディオシステムの Bluetooth^(R) をオンにします。 - ポータブルオーディオプレーヤーが、オーディオシステムの接続要求を受け入れるように設定します。 - 電話の互換性に応じて、音楽をポータブルオーディオプレーヤーから再生する必要があります。
メッセージ「Phone battery low」が表示されます。	ハンズフリー電話システムを長時間使うと、お使いの電話のバッテリーは、より早く放電します。	電話の電池を充電します。

索引 (1/2)

B

Bluetooth^(R) J.4 - J.5

C

CD テキスト J.16

CD/CD MP3

CD MP3 の仕様 J.15

ランダム再生 J.16

挿入する J.15

排出する J.16

早送り/早戻し J.15

聞く J.15

F

FM/LW/MW バンド J.4 - J.5

I

i NEWS 情報レター J.32

ID3 タグ J.16

R

RDS J.4, J.14, J.34

U

USB プラグ J.17

コ

コールする J.26

コール履歴 J.27

ス

スイッチ類 J.6 → J.9

ステアリングスイッチとパネル J.6 → J.9

ステアリング下スイッチ J.6 → J.9

ソ

ソースの選択 J.10

J.38

デ

デフォルトによる調節 J.31

ハ

ハンズフリー J.5

ハンズフリー電話キット J.26

ホ

ポーズ J.16

ボ

ボタン J.6 → J.9

ラ

ラジオ

オートマッチックモード J.12

マニュアルモード J.12

放送局のオートメモリー J.12

放送局の登録 J.12

放送局を選択する J.12

交

交通情報 J.32

作

作動 J.10

作動異常 J.35 → J.37

使

使用上の注意 J.2 - J.3

停

停止 J.10

接

接続

エラー J.24

索引 (2/2)

時	
時間	
調整	J. 32
番	
番号をダイヤルする.....	J. 27
補	
補助入力.....	J. 17
言	
言語.....	J. 33
調	
調整	
オーディオ	J. 30
起	
起動.....	J. 10
通	
通信.....	J. 28 - J. 29
電	
電波域.....	J. 12
電話のペアリングを解除する.....	J. 22
電話リスト.....	J. 26
電話をペアリングする.....	J. 20 → J. 22
電話を切る.....	J. 25
電話を受ける.....	J. 28
電話を接続する.....	J. 23
音	
音声 OFF.....	J. 10
音量.....	J. 10



**CLASS I
LASER PRODUCT**

(<https://easyconnect.renault.com>)

